〝新潟住みよい〟91.7%

第11回市民世論調査

第十一回市政世論調査がこのほどまとまりました。今回は、現在策定中の新潟市第三次総合計画に市民の意見を反映させるため、市民が市政に何を望み、どのような役割を果たそうとしているかなどを問いました。その結果九割の市民が新潟は住みよいとしている、将来は水と緑の街を望んでいる―等がわかりました。

自然に恵まれ、水と緑に囲まれた街を残したい

暮らしと住みよさ

〈問1〉住宅環境「交通の利便」「ごみ回収、収集場所の状態」「家のまわりの静かさ」については良いとする人が多く、「文化、スポーツ施設」「公園、遊び場」については評価が低くなっています。全体としては、普通から良いとする人が大半を占めています。

〈問2〉新潟市は住み好い街だと思いますか

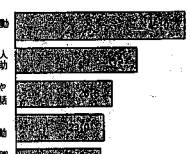
「住みよい」四五・一%、「どちらかといえば住みよい」四六・六%。合わせて九割の市民が〝住みよい〟としています。(五十五年は八二・八%)

住みよい理由は(複数回答)「長年住み慣れているから」六四・六%「食べ物が新鮮でおいしい」六三・九%、以下通勤、通学、買物の便が良いなど。「住みにくい」は「物価が高い」四三・四%、「気候、風土が悪い」三五・八%、排水、公園、遊び場の問題が理由にあげられています。

食べ物おいしい ふるさと新潟

参加と負担

〈問15〉明るく住みよいまちづくりには地域の人々と行政の協力が必要ですが、あなたは何に協力、参加しますか(三つ選択)



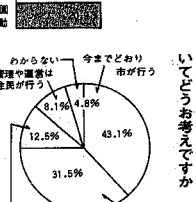
市政各分野への要望

老人福祉＝年金制度の充実
緑化推進＝面的整備
土地利用＝開発より田畑残して

スポーツに積極参加 自主管理には消極的

男女別では男性は「青少年の健全育成」「防犯、防火活動」が高く、女性は「老人、子供会の世話」が高くなっています。

〈問16〉集会施設、公民館など施設の住民管理、運営についてどうお考えですか



住民の自主管理については消極的という傾向が出ました。

〈問17〉福祉や行政サービスの充実と市民の経費負担については

「親子関係など家庭教育の躾習や指導の強化」四一・〇%と他の施策より高く、子供のいない家庭でも同じ傾向です。これに続き、子供会活動の育成、児童館等の施設整備が二〇%前後となりました。

〈問3〉老人福祉「年金制度の充実」三五・二%、「在宅福祉サービス」九・七%、「再就職の援助」一四・二%などで、年金制度充実の要望は、年金受給に間近い五十～六十代を中心に強く出されています。五十年の調査の上位三位は①年金の増額②医療費無料化③寝たきり老人対策の充実――でした。

〈問4〉児童の健全育成

〈問5〉交通安全対策「歩道や自転車道の整備」を要望する市民が多く三七・七%。

〈問6〉防犯対策 青少年非行の低年齢化を反映してか、「非行の防止」が三六・八%と、パトロール強化、街灯、防犯灯の充実より高率です。

〈問7〉防災対策 中部日本海地震では新潟でもタンクの重油もれなどが起きましたが、市民の要望は「避難場所、避難方法などのPR」に集まり、三五・四%。工業地域を抱える沼垂、山の下に高率となっています。

〈問8〉緑豊かな街づくり「公園や緑地帯など施設の整備」が五九・一%と、街路樹の整備、などを引き離して、面的整備に市民の要望が集まっています。

〈問9〉道路の整備「生活道路整備」二六・三%「歩道整備」二四・九%「自転車専用道路整備」一九・〇%。「幹線道路の整備」は一二・三%と低く、幹線道路より生活道路優先の市民要望が出ています。

〈問10〉地域活動、余暇を楽しく過ごすのに必要な施設「スポーツ施設」二六・五%、「遊園地、動・植物園、水族館」二六・三%、「公民館、図書館」二〇・六%、「市民ホール」一五・二%。

〈問11〉土地利用「田畑を減らしてもまちづくりの開発を」一四・二%、「住宅地なら多少田畑が減ってもやむを得ない」四〇・二%、「田畑はそのまま残す」四〇・一%――開発に対しては消極的な傾向がうかがわれます。

〈問12〉商店街がもっと利用され活気づくにはどんな施設が必要ですか(二つ選択)「駐車場」五一・一%、「広場、緑地」四〇・七%、「遊歩道、歩行者天国」二七・四%。

〈問13〉多くの観光客を呼ぶには(二つ選択)「新潟のよさの発見とPRの強化」四四・〇%、「信濃川、鳥屋野潟、佐潟の自然を生かした公園」が続きます。

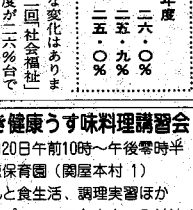
〈問14〉工業発展施策「企業誘致」二三・一%、「地元企業の育成」二一・六%。「技術開発の援助」「交通輸送網の整備」「中小企業むけ工場団地」が一五～一六%でした。

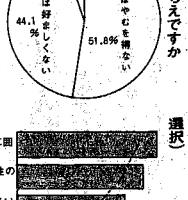
水と緑のふるさとに

新潟の未来像

〈問18〉新潟市の将来の人口規模は「五十万人」四七・四%、「七十万人」三六・〇%、「百万人」九・六%。

〈問19〉新潟市をどんな性格のまちにしたいですか(三つ選択)





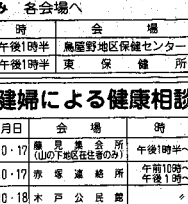
いてどうお考えですか

受益者負担については賛否が半々に分かれました。

社会福祉への要望高まる 34・5%

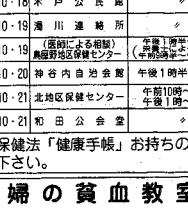
行政への要望

五十五年と比べ同様の傾向を示しており、水と緑を求める声も強まっています。



順位に大きな変化はありませんが、過去二回「社会福祉」に対する希望度が二〇%台であったのが三十四%台に上昇していることが注目されます。学校教育も五十五年から五%上昇しています。

〈問20〉市政で特に力を入れてほしいものは(三つ選択)



調査方法

調査対象 新潟市に居住する満二十才以上の男女千人
抽出法 住民基本台帳から層化副次無作為抽出
調査方法 調査員による面接調査
調査期間 七月九日～七月二十四日
回収 八百七十五人(男四百四十四人、女四百三十一人)八七・五%

いきいき健康うす味料理講習会
日時 10月20日午前10時～午後零時半
会場 香徳保育園(関屋本村1)
内容 がんと食生活、調理実習ほか
持参品 エプロン、三角きん、みそ汁の塩分テスト希望者は汁のみ100cc
問い合わせ 西保健所へ

血圧の高い人の生活と食事講習会
日時 10月21日午後1時半～3時半
会場 鳥屋野自治会館
※みそ汁の塩分テスト希望者は、汁のみ100ccお持ち下さい。

精神衛生相談
日時 毎週月、水、金曜日午後1時～3時
会場 東・西保健所
申し込み 電話で会場へ(予約制)

一般健康診査を受けましょう
期間 11月30日まで
検診機関 一般健康診査委託医療機関
対象 40歳以上の方(60歳以上は無料)
診査内容 一般診査・精密診査

むし歯予防教室
対象 6ヵ月～1歳未満児
内容 歯科医師の講演、検診、歯みがき指導
持参品 母子手帳、子ども用歯ブラシ
申し込み 各会場へ

日時	会場	定員
10月28日 午後1時半	鳥屋野地区保健センター	30人
11月7日 午後1時半	東保健所	50人

保健婦による健康相談

地区	月日	会場	時間
山の下	10・17	雇見集会所(山の下地区在住者のみ)	午後1時半～3時半
赤塚	10・17	赤塚連絡所	午前10時～正午 午後1時～3時
木戸	10・18	木戸公民館	〃
湯川	10・19	湯川連絡所	〃
鳥屋野	10・19	(医師による相談)鳥屋野地区保健センター	午後1時半～3時 (医師による相談は午前10時半～午後3時)
南浜	10・20	神谷内自治会館	午後1時半～3時
松浜・南浜・湊川	10・21	北地区保健センター	午前10時～正午 午後1時～3時
両川	10・21	和田公会堂	〃

※老人保健法「健康手帳」お持ちの方はご持参下さい。

妊婦の貧血教室
日時 10月27日午後1時半～3時半
会場 東保健所
申し込み 電話で会場へ 一先着30人一

離乳食講習会
対象 生後4ヵ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん
申し込み 当日会場へ

月日	会場	時間	持参品
10・19	北部総合コミュニティセンター	受付けは午後1時～1時15分 午後1時15分～3時半	母子手帳
	東保健所	午後1時～3時半	

お誕生すぎから3歳までの子どもの食事講習会
大豆・大豆製品の工夫料理、豆腐を使った和風チーズケーキなど
日時 10月21日午前10時～正午(受付けは午前9時45分～10時)
会場 西保健所
内容 よい食習慣を育てよう、朝食を大切に、おやつは正しく与えよう、調理実習・試食ほか
持参品 母子手帳、エプロン、三角きん
申し込み 電話で西保健所へ

成人病食事相談
日時 10月25日午前9時～11時
会場 東・西保健所
申し込み 電話で各会場へ(予約制)

保健所・保健センター電話案内

東保健所	☎43－5311
石山地区保健センター	☎86－4450
鳥屋野地区保健センター	☎85－2373
北地区保健センター	☎59－7332
西保健所	☎66－5171
西地区保健センター(西地区事務所内)	☎62－3405
坂井輪地区保健センター	☎60－3255

育児相談

月日	会場	時間	持参品
10・20	坂井輪地区保健センター	午後1時～2時半	母子手帳
10・20	西地区保健センター	午後1時～3時	
10・26	鳥屋野地区保健センター	〃	

強い子を育てよう食事講習会
日時 10月17日午後1時～3時
会場 紫竹山集会所(受講料無料)
対象 3～5歳児をお持ちのお母さんまたは保育者
内容 肥満防止はおやつからーおやつの正しい与え方、試食と話し合いほか
問い合わせ 東保健所へ